

市報

やまぐち

昭和55年

9月1日

No.795

人の動き

(8月1日現在)

人口	112,051	(-24)
男	53,658	(-28)
女	58,393	(+4)
世帯数	38,304	(-15)

()内は前月との比較

発行所 山口市役所
編集 企画部広報課
印刷 南中央印刷社



市価よりぐーんと安く

好評だった

不用品交換会

家庭に眠っている品物をもう一度利用してむだをなくそうと、嘉川地区不用品交換会が8月22日公民館で開かれました。市価よりぐーんと安いことから、多くの人でにぎわい、1時間余りで大半の品物が売り切れました。

これは、嘉川婦人会(本間アヤ子会長)と市農協婦人部嘉川支部(和田静江支部長)との共催で、地区民に呼びかけて、8年前から始めたものです。

回を重ねるごとに、出品数も増え、今年は1,500点が出品されました。衣料や家庭用雑貨類、ベビー用品、靴など、新品かそれに近いもので、それぞれの品物には出品者の希望の値段がつけられていました。売上金は、手数料を引いて出品者に渡されます。

大内氏遺跡の発掘調査

ゆかた

館跡の解明を急ぐ



龍福寺山門から本堂にかけての発掘調査。寄せられる期待に作業は慎重に進められています

このたびの発掘調査の目的は、文献資料の裏づけと館跡外郭線の確認を行うことです。発掘場所が正面に位置するだけに大きな期待が寄せられています。また、発掘の結果によっては遺跡を保存する予定ですが、保存計画は今後、更に保存対策協議会で協議が重ねられることになっていきます。

山口の町並は、南北朝時代に大内弘世が山口に居を構えたことに始まり、それ以後、大内氏は着々と基盤を築き、わが国における中世の政治、経済、文化史上に極めて高い位置を占めているといわれています。

その往時をしのぶ各遺跡は、史跡大内氏遺跡附凌雲寺跡として昭和三十四年十一月に国から指定されました。この遺跡は、館跡・築山跡・高嶺(たかみねともいわれる)・城跡・凌雲寺跡の四か所です。総面積は約十平方メートルに及びます。このうち、館跡は、史跡としては最も重要な場所です。このため、今年度も館跡の発掘調査に全力を注ぎ、九月末までに龍福寺の参道(山門から本堂まで、幅四尺、長さ約五十尺)と築地(幅四尺、長さ約四十尺)の発掘調査を行います。

今年度は龍福寺の参道と築地を発掘

昨年八月に発足した大内氏遺跡保存対策協議会(会長宇山保雄市教育長)では、六月四日と八月七日に、今年度の遺跡発掘調査と、今後の保存管理の計画について協議しました。現在、この協議に基づき龍福寺の山門から本堂までの参道の発掘調査をしています。この発掘調査の内容と大内氏遺跡として国の指定を受けている四つの史跡の歴史的価値などを紹介します。

中世の山口をしのばせる 史跡大内氏遺跡附凌雲寺跡

本拠としていた弘世が、居館を移したのは、当時国衙への依存よりも、裏日本側の北長門の確保と石見への進出が課題となり、大内村より山口の方が好条件を備えていたからです。また、弘世が山口に移ったことについて

大内氏が山口に居館を移したのは、南北朝時代の弘世の時、弘世は正平十八年(一三六三)北朝長門兩國の守護を賜わり、さらに石見にも勢力をのびしてその守護にもなりました。大内氏はそれまで周防国衙に

大内氏が山口に居館を移したのは、南北朝時代の弘世の時、弘世は正平十八年(一三六三)北朝長門兩國の守護を賜わり、さらに石見にも勢力をのびしてその守護にもなりました。大内氏はそれまで周防国衙に

は現在、住宅地となり、ほとんど跡をとどめていませんが、山門の両脇にわずかにそれらしい名残を見ることが出来ます。

上野小路の八坂、築山兩神社の境内がその地で、大内氏の別邸であったといわれています。築山をつくったのは、二十八代当主大内教弘が築山殿と称されていることから、教弘と推定されていますが、当時の構築状況がどんなものであったのかよくわかりません。ただ、連歌師宗祇の句に「池はうみ 木すえは夏の みやまかな」という句が残されているところから、かつての豪華で物静かな庭園の趣を想像することができます。



龍福寺参道から発掘された石垣。構築された時代、目的は今のところ不明です

高嶺城は、弘治三年(一五五七)、毛利氏の進軍に備えて大内義長が築城しました。しかし、義長が毛利氏の進攻に際し、この城を捨てて、逃げたあとと毛利氏によって増築されました。以後、毛利氏は城番を置いて、守っていました。幕府の一國一城令により寛永十五年(一六三八)に廢城となりました。

高嶺城跡

寺の跡は吉敷中尾の高台にあつて南に面しています。開山は了庵桂悟、開基は三十一代当主大内義興と推定されています。義興は享祿元年(一五二八)に没し、この凌雲寺に葬られました。以後、凌雲寺は義興の菩提寺となりました。菩提寺となつたが、廢寺となつた年月は不明です。この寺の跡には宝篋印塔三基が残っています。

は、弘世が新しく京都にのぼつて、その文化と環境に触れたことがその直接の動機をなしていたようです。館は東南に向き、大殿大路はその正面の大路で、四方に堀をつくり、その土をもって土塁としました。現在、館跡にある龍福寺は、弘治三年(一五五七)、大内氏滅亡後、毛利隆元が大内義隆の菩提寺として、もと白石にあった龍福寺を建立したものです。館の堀や土塁があったところ

凌雲寺跡

館跡

大内氏の居館は、いまの大殿大路の龍福寺前から八坂神社にかけてありました。大内弘世が防・長・石三國の守護となり、以後、歴代数國の守護を兼ね、大内義長に至るまで九代の間、周防をはじめ分國の政務をつかさどつた所です。

は、弘世が新しく京都にのぼつて、その文化と環境に触れたことがその直接の動機をなしていたようです。館は東南に向き、大殿大路はその正面の大路で、四方に堀をつくり、その土をもって土塁としました。現在、館跡にある龍福寺は、弘治三年(一五五七)、大内氏滅亡後、毛利隆元が大内義隆の菩提寺として、もと白石にあった龍福寺を建立したものです。館の堀や土塁があったところ

況がどんなものであったのかよくわかりません。ただ、連歌師宗祇の句に「池はうみ 木すえは夏の みやまかな」という句が残されているところから、かつての豪華で物静かな庭園の趣を想像することができます。

健康としあわせづくり

老人福祉施設のご案内

お年寄りに大もての老人憩の家

お年寄りのクラブ活動や、研修、休養などの場としてご利用いただくため、市内に三か所の老人憩の家を開設しています。

▽寿泉荘

「休館日以外はほとんど毎日来ています。ふろに入ったり、機能回復訓練室で電気あんま器にかかったりするのが楽しみです。」田村幸夫さん(66・熊野町)はこう話します。

和室では、テレビを見ながら雑談する人たちが、囲碁・将棋に興じている男性もいます。

▽嘉泉荘
嘉泉荘には、ステーション付きの広間、浴室のほか、機能回復室があります。

機能回復室には、電気あんま器と自転車訓練運動器があります。また、カラーテレビや碁盤、将棋盤も備えています。

◇ 昨年度の利用者は、一万六千余人で、これは五十年年度の九千七百余人にくらべると一・六倍になります。

◇ (嘉川一四三九●嘉川局四七八七)

◇ 寿泉荘と嘉泉荘は、六十歳以上の人ならどなたでも利用できますが、利用券を発行し、六十歳以上は出張所へ申し出ていただき、また、団体で利用する場合は、あらかじめ利用先への申し込みが必要で、三十人未満のときは、一人一日につき五十円、三十人以上のときは三十円で、月曜日と年末年始の十二月二十八日から一月三日までを除き毎日開館しています。

時間、午前九時三十分から午後五時までです。



機能回復訓練室で、自転車訓練運動器を使って訓練に励んでいるお年寄り(寿泉荘で)

◇ 入浴できる時間は、午前十時から午後四時までです。なお、九月の敬老月間にちなみ、九月中一人一回に限り無料開放します。ご利用ください。

▽寿荘

寿荘は、昭和五十三年三月に完成し、三和児童館及び集会所に併設されており、和室にはカラーテレビ、碁盤、将棋盤が備えてあります。利用料金は無料で、六十歳以上の人ならどなたでも利用できます。

日曜日と国民の祝祭日、一日から一月四日まで、十二月二十八日から十二月三十一日までを除き毎日開館しています。時間は、午前八時三十分から午後五時までです。

開館12年目を迎え

老人福祉館

老人クラブの活動の場であり、また、いろいろな教養講座の場となる老人福祉館は下野小路に設置され、健康相談室をはじめ集会所、機能回復訓練室、講座室、娯楽室、図書室、浴室があります。

◇ 昨年度の利用者は、一万七千余人で、これは五十年年度の九千二百余人にくらべると、一・二倍弱になります。

◇ ここでは生きがいをもとめて、趣味のグループ活動がさかんで、現在、書道、木彫、生花、茶道、詩吟、囲碁、将棋、盆栽、人形、せん茶、民謡、謡曲の十二のグループがあり、三三〇人余りの人が入会しています。利用は無料で、六十歳以上の人ならどなたでも利用できますが、団体で利用する場合は、あらかじめ申し込みが必要です。日曜日と国民の祝祭日、一月二日から一月四日まで、十二月二十八日から十二月三十一日までを除き毎日開館しています。時間は、月曜日が午後一時から五時まで、その他の日は午前九時三十分から午後五時までです。

(下野小路二五四●二一七二二)

養護老人ホーム

福寿園

六十五歳以上で、身体・精神・環境・経済上の理由で、家庭で養護をうけることが困難な人を収容してお世話をします。

(朝倉町五一四●二二二一八四)

特別養護老人ホーム
梅光苑

ここは、社会福祉法人相清福祉会が設置したもので、身体上か精神上著しい欠陥があるため、常時介護を必要とする六十五歳以上の人で、家庭での養護が困難な人を収容しお世話をします。

(鑄銭司二三六一の三●四辻局二〇五六)

誘い合ってご参加を

市老人福祉大会

十二日に

「敬老の日」にあたり、お年寄りがみななが長寿を祝い、お互いに、生活上の意欲を高めようと、第十四回山口市市老人福祉大会が次のとおり開かれます。お年寄りのみなさん、多数ご参加ください。

日時 九月十二日午前十時三十分から正午まで。
午前八時三十分から受付けます。

会場 市民会館大ホール

大会は、先輩物故者へ黙とう、老人福祉に功労のあった老人の表彰、お祝いのことは、小学生による敬老のことは、体験発表などを行い、正午には終わります。引き続き、午後〇時三十分から、老人クラブ会員のみなさんによる、楽しい演芸大会が午後二時三十分まで行われます。

製作品展示即売会も

午前九時から午後二時三十分まで市民会館大ホールロビーでは、老人クラブ会員製作の書画、陶芸、木工、竹細工、民芸手芸品、盆栽などの展示即売会も開かれます。

人生がなわがきしき

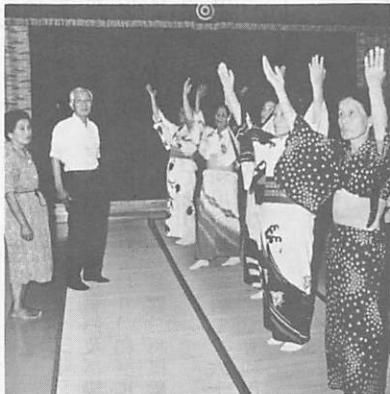
お年寄りのグループ活動

九月十五日は「敬老の日」です。また、この日から「老人福祉週間」が始まります。社会の老齢化が進み、今日ほどお年寄りの社会や家庭での役割が問われている時代はないといわれます。静かな余生を—とはだれでも考えることですが、「若い

踊りが生きがい

鑄銭司民踊グループ

昭和五十三年七月に発足した鑄銭司民踊グループ(田中康子会長、会員十一人)は、全員女性で、六十五歳から七十四歳までの人たちです。毎月第一・第三水曜日に、公民館で二時間みっちり練習します。成果は、地区



9月12日の市老人福祉大会にそなえ、きょうは盛装して練習します

の敬老会や慰霊祭、文化祭などで発表するほか、九月には市の老人福祉大会でも披露します。先生は田中会長で、踊りのキャリア二十年のベテランです。この会は、地区の老人クラブの会長が、お年寄りを対象に、踊りの好きな人を集めて教えてみたらどうかとの話でしたが、めで誕生しました。「上手・下手ではなく、趣味として、また、生きがいのひとつになればと思ひ習います」と、会員は話しています。

野菜と花づくり

白石菊花・花木同好会

生きがい対策にみんまでにかやろうと、十坪の土地を利用して、野菜や花などを栽培しているのは、白石菊花・花木同好会(大久保英夫会長、会員五十人)のみなさんです。この会が発足したのは、昭和五十四年六月で、会則や会則施行手続きをつくり、事業内容や

役員、年会費などきめ細かく定めました。最初は、仏様の花をつくる程度の軽い気持ちで始めましたが、今では野菜をはじめ、菊、チューリップ、キンセンカなど四季折々の花づくりを手がけています。今年も菊の苗を三百ほど植えました。降りが続き、三分の二はだめになったと会員は嘆いています。

作業は、白石地区を九つに分けて班をつくり、班ごとに都合

清掃で快い汗

桜島下明朗会

「ヤア、おはよう」「おはようございます」手に手に小熊手やほうきを持って集まってくる会員。毎月十日、部落の公会堂の清掃作業をしていく桜島下明朗会(徳田毎男会長、会員四十二人)のみなさんです。



本気で孫と遊んだら、腰が痛うて—草を取りながら、話しかはずみです

清掃作業を始めました。清掃を終えたら連絡事項の伝達をします。しかし、なんといつても一番の楽しみはお茶を飲みながらの雑談で、この時は、世間話に花が咲きます。こうした例会のほか、年間に

この会の発足は十年ぐらいい前で、最初のころは集会だけで終わっていましたが、会員の中から集まったからには、なにか役に立つことをしよう、と提案があったことから

数回施設見学や研修旅行をし、見聞を広めています。町内のお年寄りの方、六十歳になつたら、みんなこの会に入つてほしい。そして、お互いに話し合ひましょうや—徳田会長はこう話しています。

のよい日を定め、行います。

とれた野菜や花で収益をあげ、もつぱら会員や町内のお年寄りに無償で配ったり、福寿園に寄贈したりなどして、みんなに喜ばれています。



野菜や花をつくり、人にもわけて喜んでもらおうと張りきっている会員

ひとこと

地区老人クラブ会長さん

▽武安 誠 小崎

年寄りのスポーツとして、ゲートボールを取り入れ、会員に普及させたい。

▽山本 市郎 大殿

年をとっているのに、自ら率先してはやれないが、みんなとよく相談してクラブを発展させたい。

▽原田 勝三 陶

老人いこいの家まで行くのに往復のバス代がかさむので、家で寝ていた方がよいと考えるようになる、なにか手だてはないものか。

▽粟屋 義男 大歳

みんなまとまって一生懸命やっているが、死亡などで人数が減っていく。新しく入会してくれる人がほしい。

▽高橋 昌三 鑄銭司

これから高齢化社会を迎えるが、老人クラブとして魅力ある活動をしたい。それには行事にもっとたくさんの方が参加してほしい。

▽吉松 敏男 秋穂二島

医療や市営バスの無料化で社会に大変お世話になっている。健康に留意し、奉仕活動などして、少しでもお返ししたい。

▽村田 潔 嘉川

六十歳になつたらできるだけクラブに入会してほしい。

▽山本 秀夫 宮野

身だしなみを奇麗にして、

(5)

踊りが好きで、体を動かすことによつて健康を保ちたい—そんな思いの人たちが集まって昭和四十九年十二月に二島民踊

踊りで健康に

二島民踊クラブ



踊るとのシャランを腰が、踊りの手振りもあざやかに

最新長は七十八歳の小野ヨシ子さん。男性は渡辺隆介さん一人、クラブの人気者です。暑さ寒さにかかわらず、片道時間は四時間のハードスケジュールです。これまでに、祖谷の粉ひき節、ちやつきり節など三十数曲をマスターし、地区の公民館まつりや体育祭、小学校、中学校の運動会などの機会に地区民に披露しています。

クラブ(世話人は小野文字、入江ミキコさん、会員三十人)が誕生しました。

五キロ離れた岩屋部落からの「通学生」もいます。例会は公民館で月二回、練習

菊づくり

大内管内老人グループ

今年七月に発足した大内管内部落の菊づくりグループ(世話人は安部正彦さん、会員二十二人)は、五合(五寸)ばかりに菊の苗を一本植えて、はちと同じ大きさの花を咲かせる「補助づくり」に取り組んでいます。初めは大輪の花を咲かせる三本仕立ての菊をつくる予定でしたがこの大輪づくりは五月二十日ごろにさし木をし、六月十日ごろに苗をはちにあげ植え付けをする必要が、今年時期を逃がしたことから、育苗が間に合う補助づくりにしました。会員のなかには、菊づくりの

経験者は五、六人いますが、それも趣味で少しばかり手がけた程度で、あとは全員素人です。そうしたこと、専門の指導者を招き菊づくりのイロハから教わりました。今年、一人あたり三はちずつ育てることとし、腐葉土や赤玉土、荒砂などで培養土をつくりました。すでに、苗の移植を終え、この秋の品評会に出品したいと、会員は今から意欲を燃やしています。菊づくりの指導にあたった、



土いじりは慣れたもの。はちに培養土を入れ、菊の植え付けです

市農林水産課の児玉技師は、このグループは純農村に定着した人たちの集まりで、作物づくりは非常に熱心だ。秋にはすばらしい「補助」にお目にかかれるでしょうと、期待をかけています。

家では孫の前で練習したり、よる床に着いても手足の順序を考えるなど「技」を磨くことに余念がありません。

オモト栽培

仁保オモト生産組合

仁保北河内地区では、オモトを各戸で栽培し、販売していましたが、組合をつくり共同で栽培し、出荷したらどうかとの指導が、仁保農協や県経済連からあったので、昭和五十一年八月に山口市仁保オモト生産組合(山本永)組合長、会員二十七人)を結成しました。



暮れの出荷を楽しむに、オモト畑の草取りに精を出す会員

オモトは、「万年青」と書きいとも青く縁起が良いというので、正月用の生花として重宝がられています。葉を包丁で一枚一枚丁寧に切り取り、十二月上旬から中旬にかけて出荷します。植え付け後五年ぐらいで、植え替えをし根分けして増やしますが、畑には雑草も生えず、葉は軽く、切り取る作業も簡単なうえ、持ち運びが楽

紹介した六グループのほかには、仁保第七長寿会といった栽培グループ。ほかに六つの老人作業グループがあります(藤村薫会長、会員三十人)、菊の花木グループ(伊藤権十会長、会員三十六人)、山龍一(会長・会員三十一人)もあり二島オレンジクラブ(吉松敏

若い人に知られないように心がけたい。そして、老後を楽しく健康で過ごしたい。▽藤井清輔(88) 白石秋の大運動会や旅行、ゲートボール大会を実施するなど生きがい対策は万全です。▽池田 悟(70) 湯田 まだまだ社会のお役に立ちたい。そして一日一日を大切に生きていきたい。▽重枝経義(77) 平川老人クラブは、お互いに健康で長生きを喜び合えればそれで十分で、型にはめないことがよいと思います。▽木村 茂(80) 名田島趣味を生かして生きがいのある老後を送りたい。老人の経験を生かして社会の為に尽くしたい。▽山田孝助(70) 佐山家と家族の安泰を願ひ、人情に厚く生きた母親のことを敬老の日を迎えるたびに思い出します。▽明山誠演(80) 大内老人は敬られる人格を備えなければならない。人の荷物にならないよう、趣味をもって日々を楽しむ過ごしたい。▽嘉村 栄(80) 仁保老人の大部分は自分で金がかせがないので息子や息子の嫁に頼っている。老齢福祉年金がもっと増えればよい。▽松岡 雅(82) 吉敷六十歳から老人クラブに入会できるが、六十歳ではまだ働きがりの人がいる。強要はできないが、入れる人は入ってほしい。



9月はガン征圧月間 ガン特別検診を

ガンによる死亡は年々増えており、昭和五十三年の山口県内のガン死亡者は、二、三七九人で、この内約三二%の人が胃ガンで亡くなっています。また、ガンは、三十五歳からの働きかりの人が多いのも特徴で、家庭にとっても社会的にも大きな問題です。

自分の健康は自分で守ることが大切です。ガンを正しく知り、早く発見して、早く治療をすることが最高の特効薬です。ほとんどのガンは初めのうちこれといった症状がないので、年一回以上の検診を受けるとが大切です。検診で発見されるガンは、比較的初期が多く、治療で完全に征圧することができま

山口赤十字病院で、九月一日から三十日まで、次のとおりガンの特別検診が行われます。良い機会ですから市民の皆さん多数受診してください。受診には保険証をご持参ください。

胃ガン——祝祭日と土・日曜日を除き午前八時三十分から九時まで受付け、対象者は四十歳以上で検診料は四千元。当日は朝食、湯茶、飲食物、たばこなど一切とらないこと
乳ガン——祝祭日と土・日曜日を除き午前八時三十分から九時まで受付け、対象者は三十歳以上の婦人で検診料は千二百五十円
皮膚ガン——月・金曜日のみ。午前九時から十一時まで受付け。年齢に制限なく、検診料は三千五百円

無料法律相談

日時 9月8日午後1時30分から、受付は午後1時から2時まで(先着15人で締め切り)
場所 市民会館内中央公民館視聴覚室
対象 一般市民
市が隔月に1回開くもので、土地売買、貸借など法律上の問題を弁護士さんが相談に応じます。気軽にお越しください。

山口文化バスの会

万倉大岩郷と小野田の石仏へ

日時 9月23日午前8時30分市民会館小ホール入口出発(雨天中止)
コース 美祿市歴史民俗資料館—万倉大岩郷—江沙公園—小野田の石仏—小野田セメント徳利窯—竜王山
会費 大人2,800円、子供・身障者2,000円
募集人員 120人(定員になり次第締め切り)
講師 内田伸氏
持参品 弁当・水筒
申し込み 9月13日までに葵二丁目市交通局内山口文化バスの会 22-2555へ

市民手話講習会受講生募集

手話を習ってろうあ者の皆さんと交流してみませんか。
期間 9月5日から11月28日までの毎週金曜日、時間は午後6時から8時まで
場所 県身体障害者福祉センター
対象 一般市民
主催 山口手話友の会など3団体
申し込み 講習会を開講したのちでも受講できます。受講希望者は市役所福祉課 22-4111へ。受講料は無料です

交通安全写真コンテスト

秋の交通安全運動の一環として次のとおり作品を募集します。
テーマ 交通安全に関するもの
規格 サイズは四つ切またはキャビネ版(カラーでもよい)
対象 山口市民
その他 作品裏面に住所、氏名、題名、写真機名、絞り、シャッター速度、フィルム名を記入した出品票を貼りつける。応募作品はお返ししません。
応募方法 9月22日までに糸米一丁目4-42山口警察署 22-5222へ

山口青年会議所創立25周年記念講演会

日時 9月6日(土) 午後1時~4時
場所 市民会館大ホール
講演 「日本の安全と防衛」高坂正純(東京大学教授、「エネルギーと食糧」経済防衛)勝部領樹(NHK放送記者)
入場料は無料、多数ご来場ください。

市美術展覧会10月3日から

作品の準備をお願いします



昨年の市美術展、多くの市民でにぎわいました

市民文化祭の一環として、山口市美術展覧会を、十月三日から六日まで、市民会館小ホールと展示ホールで開きます。出品される人は、作品の準備をお願いします。

部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザイン

応募作品 各部門とも二点以内、自己の制作した未発表のもの、出品作品の裏面に所定(市社会教育課備え付け)の出品票を貼りつける。

出品料 無料

作品の搬入 九月三十日午前九時から午後六時まで、市民会館展示ホール受付係へ。

審査 各部門で審査員が審査し、賞を決め、入賞者には通知します。

作品の規格などは、市教育委員会社会教育課 22-2141-1へお問い合わせください。

山口県中部環境施設組合

職員採用試験

小郡町大字上郷に建設を進めている山口県中部環境施設組合(山口市、小郡町、秋穂町、阿東町の事務の一部を共同処理するために設立された特別地方公共団体)のし尿処理場の職員を募集します。

職種・人員・資格

事務—昭和三十六年四月二日から三十八年四月一日までに生まれ、高校卒業(見込みを含む)した女子

電気—昭和十五年四月二日以降に生まれ、高校卒業以上の学歴を有し、第三種電気主任技術者免状を取得している人

機械—昭和二十年四月二日以降に生まれ、高校卒業以上の学歴を有し、各種機械の知識を持っている人

水質分析—昭和二十五年四月二日以降に生まれ、高校卒業(見込みを含む)以上

の学歴を有し、水質分析の知識を持っている人

一般業務—昭和三十六年四月二日から三十八年四月一日までに生まれ、高校卒業(見込みを含む)した男子

採用予定人員—いずれも若干人

◇一次試験

十一月九日教養・適性試験

◇採用時期

昭和五十六年四月

◇給与、勤務時間

勤務条件は、山口市の条例の定める例による。

◇受験手続き

所定の受験申込書(同事務局備え付け)に、必要事項を記入し、九月八日から九月三十日までに、亀山町二—一山口市役所内山口県中部環境施設組合事務局 22-2141-1へ。なお、問い合わせも同事務局へ



『私たちのまち山口』

九月は吉敷と名田島を紹介

毎週日曜日上午十一時五十分からTYSテレビで放映している「私たちのまち山口」では、九月十四日に、吉敷毛利家の遺跡と山すそに開かれたベッドタウンやこれから拡張が計画されているスポーツ公園などを中心

とした吉敷を、また九月二十八日と十月十二日には山口市の穀倉地帯として米づくりとアイリス作りなどの農業を中心とした名田島を紹介しています。

なお「市からのお知らせ」も隔週ごとに放映しています。



◁涼しい木かけて人形劇
七月二十四日中央公民館主催の母と子の木かけ教室が香山公園で開かれ、涼しい木かけて人形劇やゲームなどで楽しく過ごしました。



△1,500人が踊りの輪を

地区をあげて盆踊りを楽しみ、お互いの交流を深めようと8月9日大歳地区盆踊り大会実行委員会の主催で、盆踊り大会が大歳河川公園で開かれました。やぐらの周囲にかがり火がたかれ、太鼓の音に合わせてゆかた姿の子供や地区住民約1,500人が踊りの輪をつくり、夏の夜のひとときを楽しく過ごしました。



山口市燻人防火クラブ研修会

△力強く防火宣言

8月19日市民会館小ホールで、市婦人防火クラブ合同研修会が開かれました。白石、大殿、仁保、大内の各婦人防火クラブから約200人が参加し、火に関する科学的知識や家庭の防火などを熱心に研修。火事のない明るい社会づくりをと力強く防火宣言をしました。



△ふれあいを求めて

鑄銭司ふれあいフェスティバルが8月16・17日の2日間同地区青年団主催で開かれました。会場の鑄銭司小学校には、バザーや映画会、カラオケ大会(写真)など子供から大人まで楽しめる催しに、ミであいミとふれあいミを求めて多くの人でにぎわいました。



◁フェアな試合を
子供たちにとって夏休みの最大行事、子供サッカー大会が八月三日、九地区で行われ、試合前には、ふいさつで主将が握手して、フェアに戦おうと誓いあいました。(写真は嘉川で)



同和問題を考える

。同和教育授業参観では、保護者の学校理解を中心に、ねらいを定めておいて、各教科・道徳・特別活動の領域で、この問題をどうとらえているか公開し、保護者の協力を要



同和問題を考える

学校同和教育の徹底を期すため、各学校のP・T・Aでは、授業参観や講演会を計画、実施しています。

しかし、学校によっては保護者の協力、参加が十分でなく、先生方やP・T・A役員を悩ませているようです。

そこで、A校のP・T・A同和教育の実施例をお示しし、同和教育へのご理解をいただきたいと思えます。

地域社会でのとりくみ(8)

(P.T.A 研修から)

× × × × ×

このような計画や実践は、学年はじめのP・T・A総会における学校長の発言から、文化部が中心になってなされたと聞いております。

学校教育において同和教育の重要性がさげばれている今日、どの学校においても、P・T・Aが同和教育へのとりくみを計画し、実践していただきたいものだと思います。

× × × × ×

。全体会や講演会では、学校全体で、この教育をどうとらえているか説明し、児童の実態やその反応を示しながら、親としての考えを正していくこととするものです。

できるだけ具体例を上げて説明し、この問題解決が市民全体の問題として実践されなければ解決しないことを強調しています。

。学級懇談会では、家庭教育との関連をもたせながら、教育を疎外しているものは何かを考えながら、家庭と地域社会との関連の中で、自分の子供を見つめるよう話を進めています。

子供を育てるには、親や教師の考え方が重要であり、単なるためまやや、理論だけではどうしようもないことなので、現実の子供を中心に話し合いを深めています。

× × × × ×

。全体会や講演会では、学校全体で、この教育をどうとらえているか説明し、児童の実態やその反応を示しながら、親としての考えを正していくこととするものです。

できるだけ具体例を上げて説明し、この問題解決が市民全体の問題として実践されなければ解決しないことを強調しています。

。学級懇談会では、家庭教育との関連をもたせながら、教育を疎外しているものは何かを考えながら、家庭と地域社会との関連の中で、自分の子供を見つめるよう話を進めています。

子供を育てるには、親や教師の考え方が重要であり、単なるためまやや、理論だけではどうしようもないことなので、現実の子供を中心に話し合いを深めています。

出張所地区

不燃物の収集日

- 9月 9日平川、11日大内、16日吉敷、18日小鯖、24日大歳、26日仁保、29日宮野
- 10月 1日嘉川、2日陶・鑄銭司、3日佐山、4日名田島、6日秋穂二島

1歳6か月児健康診査

- 日時 9月24日 受付時間午後1時から2時まで
- 場所 市役所内市民ホール
- 該当児 昭和54年3月1日から3月31日までに生まれた幼児
- 診査内容 小児科(検尿を含む) 歯科
- 料金 無料、母子手帳を持参のこと

献血車が巡回します

- 日時・場所 9月6日午後0時~2時。野田学園体育館前駐車場
- 夏場は血液が不足しています。献血にご協力ください。

山口おやこ劇場9月例会

- 高学年向きに、夏の風物詩、怪談ばなし牡丹燈籠(ぼたんどうろう)を現代人形劇の「ブーク」が演じます。
- 日時 9月11日(木)午後6時30分開演
- 場所 市民会館小ホール
- 会費 大人2,200円(前売2,000円)、小中、高校生1,000円(前売800円)

皇宮護衛官募集

- 試験 10月26日(第1次)
- 受験資格 高校卒業程度で、昭和32年4月2日から38年4月1日までに生まれた人
- 受付け期間 9月11日まで
- 受験申込用紙は、広島市中区上八丁堀6-30人事院中国事務局へ

航空管制官・航空保安大学校学生

- 試験 10月26日(第1次)
- 受験資格
 - <航空管制官>短期大学か高等専門学校卒業程度で、昭和28年4月2日から36年4月1日までに生まれた人
 - <大学校学生>昭和35年4月2日以降に生まれた人で、高等学校を卒業した人か来年3月卒業見込みの人、またはこれと同等の資格を持っている人
- 受付け期間 9月11日まで
- 受験申込用紙は、広島市中区上八丁堀6-30人事院中国事務局へ

自衛官募集

- 募集種目 一般曹候補学生・航空学生
- 資格 高校卒業(見込みも含む)した20歳未満の男子
- 申し込み 9月27日までに自衛隊山口地方連絡部へ

山口県行政書士試験

- 試験 10月12日午前9時から
- 場所 県社会福祉会館(大手町)
- 受付け期間 9月19日まで
- 受験手続き 所定の受験願書(県総務部地方課備え付け)に試験手数料3,000円(県収入証紙)をそえて、滝町1-1県総務部地方課へ。詳細についても同課へおたずねください。

お知らせ



軽油は県内のガソリンスタンドで

自動車燃料として使用されている軽油には、県の収入となる軽油引取税が、リットルにつき二十四円三十銭含まれていますが、この税金は、道路や交通安全施設の新設、改良の費用に使用されています。

ことになっていきます。昭和五十四年度の山口県の軽油引取税は約六十七億円あり、道路の整備などに使われました。

県内の道路を良くするために、軽油は必ず県内の販売店から買いましょう。

軽油は県内の販売店から買いましょう

九月は家出発見保護月間 子供の家出を防ごう

例年新学期になると、夏休みの解放感や慣性などで、学校きらいや遊びぐせなどが原因で、子供の家出が増えてきます。

■ 昨年九月は11人が

■ 昨年の九月中における山口警

察署管内の子供の家出は、小学生二人、中学生三人、高校生三人、その他三人の十一人でした。

■ 親子の話し合いを

家出を防ぐには、日ごろから何でも話し合えるふん囲気づくりが必要です。

親子が心の交流をはかり、子供の立場に立つてものを考え、気安く相談相手になって、子供に不安や悩みを持たせないよう

市では、次のとおり市有林の茸山の入札を行います。入札できる人は、当該地区の人に限りです。

■ 期日は九月十八日、入札場所、時間は次のとおりです。

▽仁保(仁保生活センター) 午前九時~午後二時

▽小鯖(公民館) 午前十一時~午後二時

▽大内(出張所) 午前十一時三十分~午後二時

▽吉敷(公民館) 午後二時~午後三時

市農林水産課へ

この学級は、心身に障害の疑いがあると診断された幼児がいる家庭で、日常の育児やしつけ、あるいは義務教育を受けけるのに不安や悩みをお持ちの母と障害児の学級生募集

母と障害児の学級生募集

しらすぎ学級

この母と子を対象として開くものです。

期間 九月十日から十一月二十六日までの毎週水曜日、時間は午前十時から

参加費 無料

参加を希望される人は、市役所福祉課(二二四二一)へお申し込みください。

場所 市福祉センター

人員 十人程度

主催 山口市手をつなぐ親の会

指導者 医師や心理学の専門家

9月18日に茸山採取権の入札

市では、次のとおり市有林の茸山の入札を行います。入札できる人は、当該地区の人に限りです。

■ 期日は九月十八日、入札場所、時間は次のとおりです。

▽仁保(仁保生活センター) 午前九時~午後二時

▽小鯖(公民館) 午前十一時~午後二時

▽大内(出張所) 午前十一時三十分~午後二時

▽吉敷(公民館) 午後二時~午後三時

市農林水産課へ

9月の休日当番医	日	外科系		内科系		外科系		内科系			
		病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話
	7	坂本整形外科	山口⑤5566	田原小児科	山口③2307	相川医院	四辻 2177	上郷医院	小郡②0916	有富医院	秋穂 2705
	14	山口病院	山口②1191	縄田医院	山口②0149	村田外科	小郡②7100	田中医院	小郡②2325	藤井医院	二島 2002
	15	淵上整形外科	山口②6644	牧野医院	山口②0885	第一病院	小郡②0333	第一病院	小郡②0333	村田医院	嘉川 2510
	21	村田整形外科	山口②5765	美澄病院	山口②2285	同仁病院	阿知須2130	河端内科	小郡②3820	賀屋医院	二島 2033
	23	田村外科	山口②7527	本永内科医院	山口⑤7001	小川整形外科	小郡②2887	岡村医院	小郡②2053	新井医院	阿知須2048
	28	柴田整形外科	山口②1012	山県医院	山口②0206	三隅外科	小郡②1003	岡医院	小郡②2388	田村内科	嘉川 4749

■ 日曜・祝日の夜間は、休日夜間急病診療所(県薬剤師会館内)へ、19~23時。 ■ 歯科は県口腔センター(吉敷下東)へ、9時~15時。